

令和2年8月7日

お盆休みにおける帰省等に際してのお願い

三重大学長 駒田美弘

8月に入って、医学部に新型コロナウイルス感染症の集団感染、いわゆるクラスターが発生したことは、大学のホームページやマスコミの報道等でご存知のことと思います。三重大学では、2月に新型コロナウイルス緊急対策本部を設置し、流行の早期より、感染予防基本マニュアルや学生・教職員の行動指針を定め、オンライン授業やテレワークを導入する等、感染予防対策を講じてきてはありましたが、十分ではなかったと、その責任を強く感じています。現在は、三重県の担当部局、国から派遣して頂いていますクラスター対策班としっかりと連携し、その全容の解明と感染拡大防止に向けて全力で取り組んでいるところです。

学生の皆さんは、ほとんどの授業がオンライン授業となり、課外活動も自粛しなくてはならず、普段の楽しい大学生活を送ることができなくなっていることと思います。特に、一年生の皆さんは、まだ一度も三重大学のキャンパスに来ることができないという方もおられると思います。加えて、今回の集団感染の発生によって、強い不安や孤独感を感じられている方もおられるかもしれません。「学生、教職員の健康、命を守る」ためには、とても辛い選択をしなくてはならないことをご理解いただきたいと思います。

もうすぐお盆休みに入りますが、8月5日には、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室から、お盆休みの帰省のあり方が周知されました。帰省をお考えになっておられる方もいらっしゃると思いますが、帰省した場合、高齢者と接する機会や飲酒・飲食の機会も多くなることが考えられます。したがって、新型コロナウイルス感染が広がっている現状では、帰省する場合は、基本的感染防止策（手指の消毒やマスク着用、大声を避ける、十分な換気など）の徹底や三密を極力避けていただくとともに、特に大人数の会食など感染のリスクが高い状況を避けるなど、高齢者等への感染につながらないよう注意をお願いいたします。もし、そうした対応が難しいと判断される場合には、感染が収まるまで当分の間、オンライン帰省を含め慎重に考慮していただきたいと思います。